

26 卒就活状況に関する 学生アンケート結果報告レポート ～ 2024 年 12 月度～

contents

1. 26 卒就活状況について

～夏インターン前の就活開始が主流に～

2. 26 卒就活状況について

～選考に進んでいる学生 8 割、内定を持つ学生 3 割超え～

3. 26 卒インターン参加状況について

～ 86.2%が志望業界を決めている～

4. インターン参加状況について

～ 79.3%の学生がインターンで選考案内をもらう時代～

5. 学生の優先順位について

～ 26 卒は勤務条件のマッチ度を重視する～

6. 企業の採用状況について

～企業の課題は採用の入り口にあり～

7. 学生と企業の優先順位比較

～「志望職種」よりも大事な条件とは～

調査概要

アンケート概要①

調査目的:26卒学生の就活状況について
対象:2026年卒『キミスカ』登録ユーザー
地域:全国
調査方法:WEBアンケート
有効回答数:2026年卒:203件
実施期間:2024年12月12日～12月24日

アンケート概要②

調査目的:【キミスカ】2024年12月採用状況アンケート
対象:キミスカ2025、2026利用企業
地域:全国
調査方法:WEBアンケート
有効回答数:45件
実施期間:2024年12月18日～12月23日



株式会社グローアップ キミス
カ事業部 事業部長
加藤 佑基

早期化が加速する 26卒。 企業の対応が問われる時代に。

すでに8割を超える学生が選考に進み、3割が内定を獲得している中で、今から学生の行動が加速するということはないでしょう。
さらに、86.2%の学生が志望業界をほぼ決めており、インターン等を通して早期の段階で自身の希望業界や職種を決めている印象です。
就職活動自体は継続する学生が多いため、最終的にその業界に内定承諾をするかは不透明な部分もありますが、年明け以降の就職活動ではより企業を厳選した上でエントリーや面接に進む選択をすることが予想されます。

近年の早期化は単に「行動開始だけが早い」ではなく、売りが市場と呼ばれ内定が出やすい環境があるため、学生自身が「希望業界や職種を絞るタイミングが早い」ものだと認識しております。
この時代に合わせて、採用の取り組む時期、選考内容等の学生一人一人に合わせたコミュニケーションや対策を考えていくことがより一層重要となってくるでしょう。

夏インターン前の就活開始が主流に

大学年次	割合
大学3年4月～6月	67.5%
大学2年生	9.4%
大学3年7月～9月	7.4%
大学3年10月～12月	15.8%

大学卒業時期	割合
大学4年6月以降	31.0%
大学4年4月～5月	37.9%
大学3年12月～3月	27.1%
すでに終了している	3.9%

列1	大学2年生	大学3年4月	大学3年5月	大学3年6月	大学3年7月	大学3年8月	大学3年9月	大学3年10月	大学3年11月	大学3年12月
すでに終了している	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0
大学3年12月	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0
大学3年1月	3	1	2	2	0	0	0	1	0	0
大学3年2月	0	2	1	3	0	2	2	1	0	1
大学3年3月	3	15	4	4	1	1	1	1	0	0
大学4年4月	4	10	8	9	2	0	0	1	0	0
大学4年5月	4	13	10	6	0	2	1	4	3	0
大学4年6月以降	3	12	9	18	0	1	1	6	1	12

Age Group (歳)	Number of Companies (社)	Percentage (%)
0歳	0	14.3
1~2歳	1~2	30.0
3~5歳	3~5	43.3
6~9歳	6~9	7.9
10~15歳	10~15	3.9

A donut chart illustrating the distribution of responses for the question 'When will you start using the service?'. The chart is divided into five segments of varying shades of blue, with the largest segment representing 'Already started' at 64.4%.

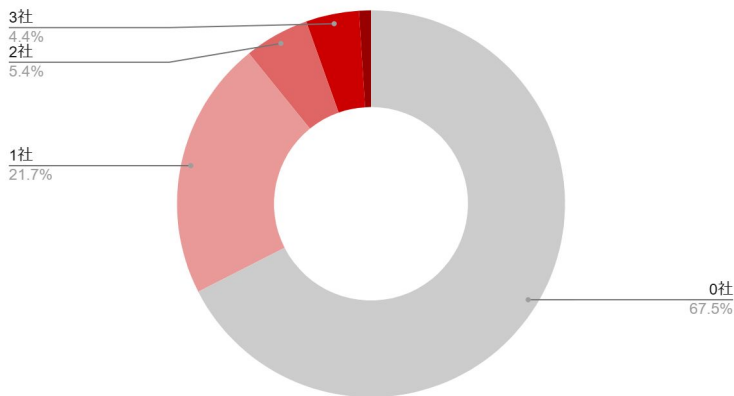
Response Category	Percentage
すでに始めている	64.4%
2025年4月～6月	2.2%
2025年1月～3月	20.0%
2024年12月～	13.3%
（未回答）	1.1%

[illegible]

26卒就活状況について

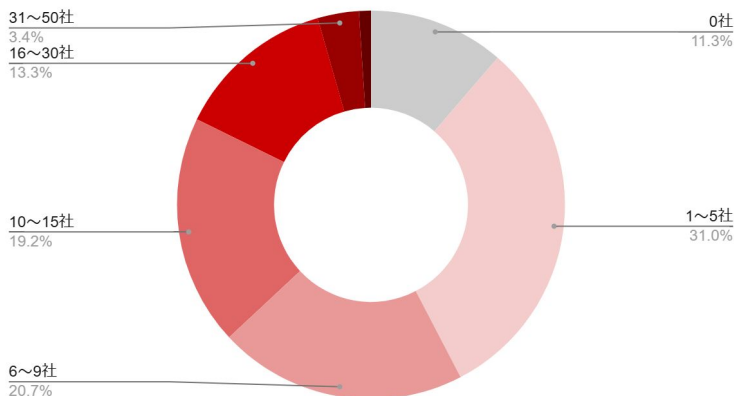
選考に進んでいる学生8割、内定を持つ学生3割超え

内定をもらった社数を教えてください。



列 1	大学2年生	大学3年4月	大学3年5月	大学3年6月	大学3年7月	大学3年8月	大学3年9月	大学3年10月	大学3年11月	大学3年12月
0社	30	30	26	28	2	4	4	14	4	10
1社	2	19	7	10	0	1	1	0	1	3
2社	0	5	2	3	1	0	0	0	0	0
3社	1	5	0	1	0	1	1	0	0	0
4社	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

今後のエントリー社数（予定）を教えてください。



列 1	大学2年生	大学3年4月	大学3年5月	大学3年6月	大学3年7月	大学3年8月	大学3年9月	大学3年10月	大学3年11月	大学3年12月
0社	5	8	5	2	0	1	0	0	2	0
1~5社	7	23	3	11	1	1	4	4	1	8
6~9社	2	19	6	3	1	2	1	6	0	2
10~15社	3	4	13	13	1	2	1	1	1	0
16~30社	0	6	5	11	0	0	0	1	1	3
31~50社	2	0	3	1	0	0	0	1	0	0
51社以上	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0

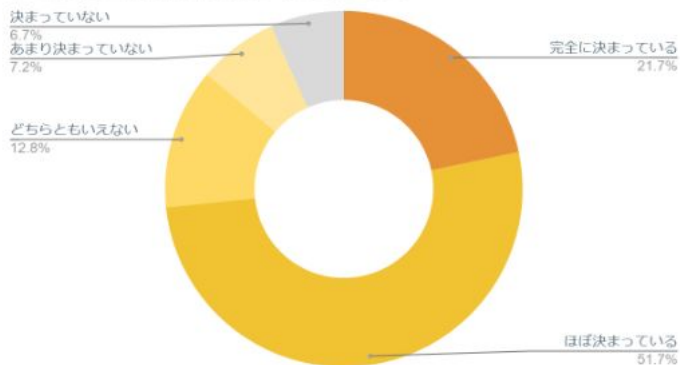
現時点で選考に進んでいる社数の回答で最も多いのが「3~5社」次いで「1~2社」となり、すでに年内に1社以上選考に進んでいると答えた学生が85.7%という結果になりました。実際に企業向けのアンケートでも、64.4%がすでに面接を始めていると回答しています。

また、就活開始時期が10月、11月と回答した学生でもすでに選考に進んでいることから、初回接触から選考開始までの期間を短く設定している企業も多いことがわかります。内定を1社以上獲得している学生は全体の32.5%となり、大学3年6月までに就活を開始した学生のほうが比較的内定を獲得していることがわかりました。

26卒就活状況について

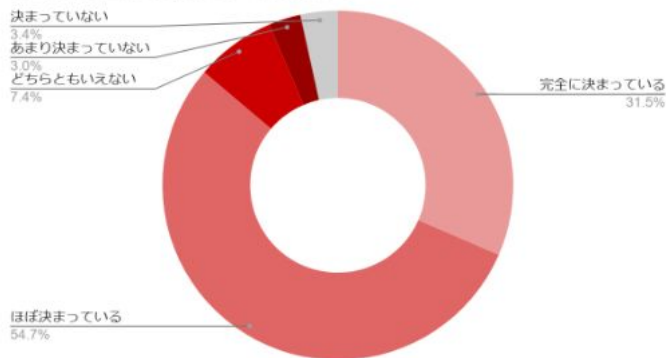
86.2%が志望業界を決めている

すでに志望業界は決まっていますか？



2024年9月 n=180

すでに志望業界決まっていますか？



2024年12月

志望業界について「完全に決まっている」「ほぼ決まっている」合わせて 86.2%となりました。

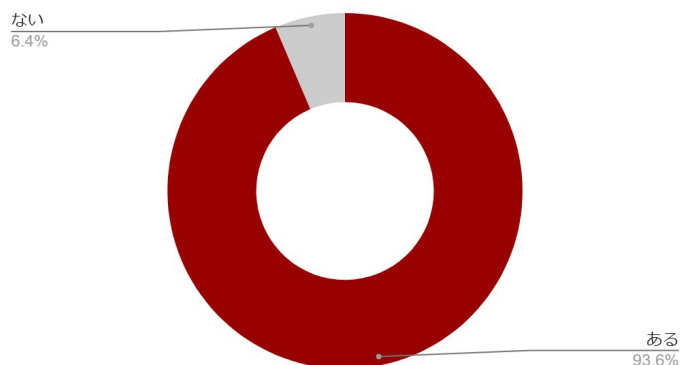
同年9月に聞いたアンケートよりも「完全に決まっている」が9.8%増え、「どちらともいえない」「あまり決まっていない」「決まっていない」が12.9%減少していることから、インターンの参加を経て年内に志望業界が固まってきたことがわかります。

インターン参加状況について

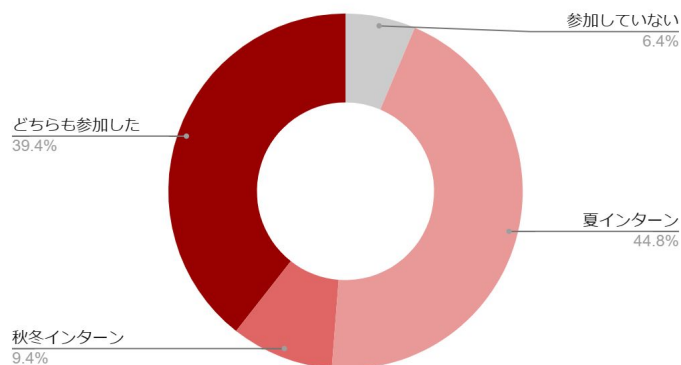
79.3%の学生がインターンで選考案内をもらう時代

※1dayインターン(オープン・カンパニー)も含まれます。

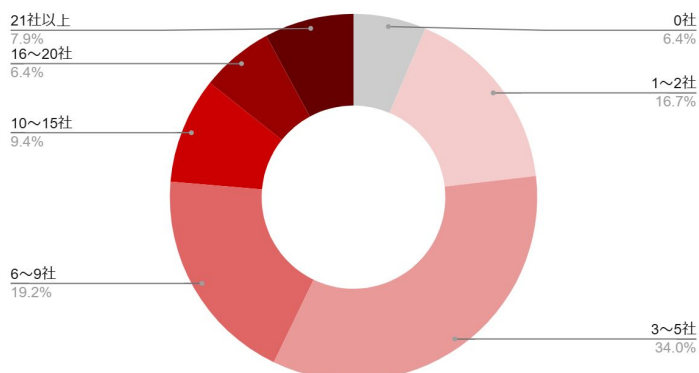
インターンに参加したことはありますか？



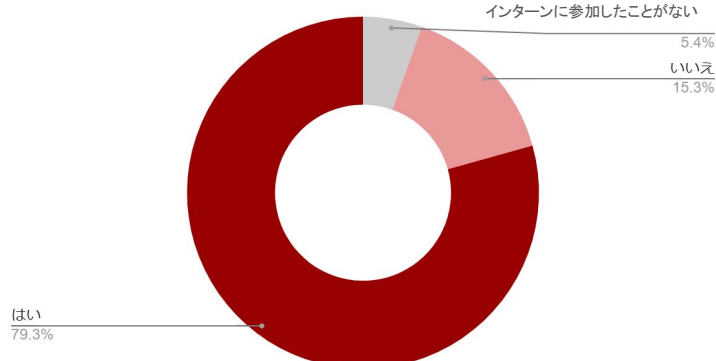
いつインターンに参加しましたか？



インターンに参加した社数を教えてください。



インターンに参加した企業から、早期選考の案内をもらいましたか？



93.6%の学生がインターンの参加経験があると回答していました。

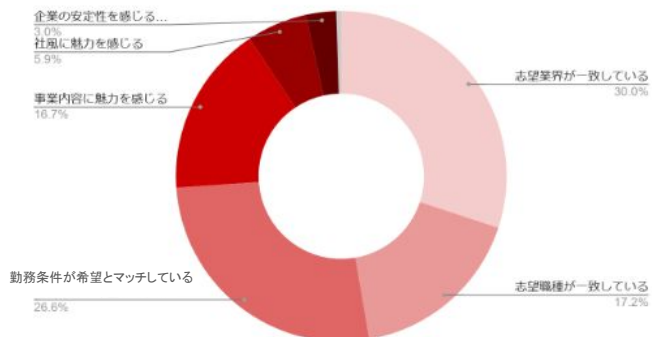
また、夏のインターンだけ参加する学生も多く、秋冬よりも夏に注力する学生が多いようです。

インターン参加企業から早期選考の案内をもらった学生は79.3%となり、**多くの企業がインターンで接触した学生に選考の案内をしている**という実態が明らかになりました。

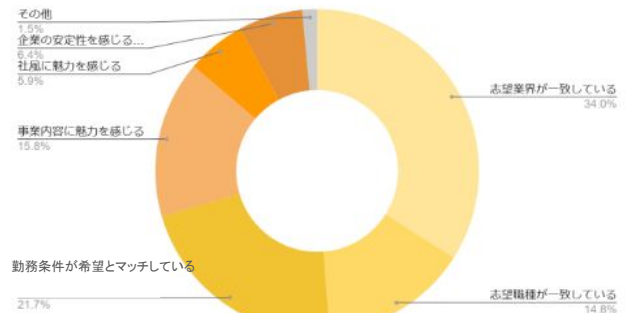
学生の優先順位について

26卒は勤務条件のマッチ度を重視する

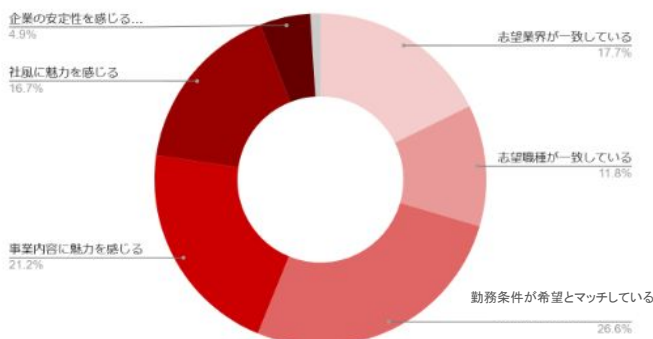
優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（1位）



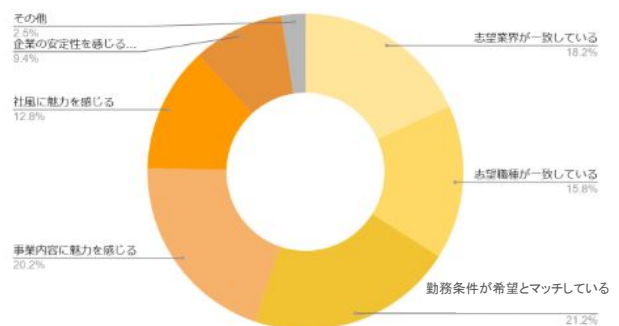
優先的に説明会に参加したい企業の特徴を教えてください。（1位）



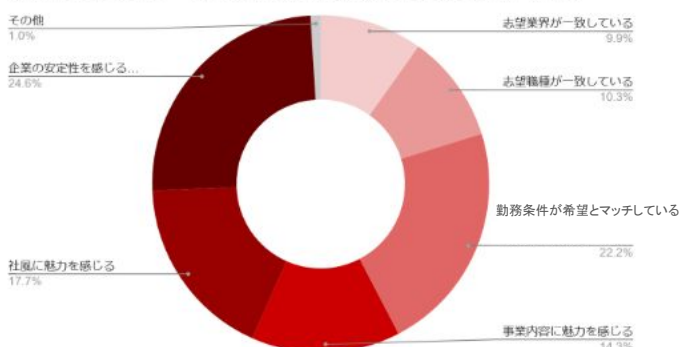
優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（2位）



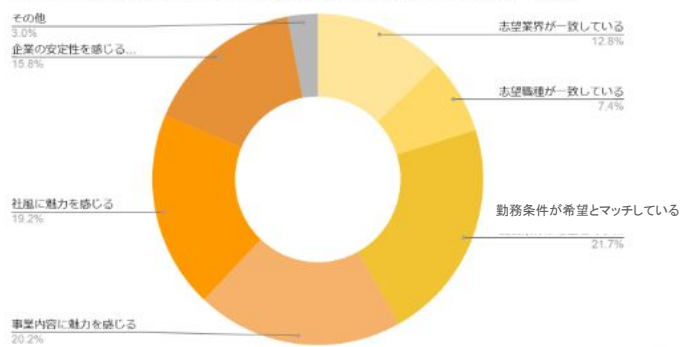
優先的に説明会に参加したい企業の特徴を教えてください。（2位）



優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（3位）



優先的に説明会に参加したい企業の特徴を教えてください。（3位）



「優先的にエントリーしたい企業」と「優先的に説明会に参加したい企業」それぞれの特徴を1位～3位まで選んでもらった結果、エントリーと説明会で優先したい項目に大きな違いはありませんでした。

1位で回答が多かったのは「志望業界が一致している」「勤務条件が希望とマッチしている（給与、福利厚生、ワークライフバランス、勤務地、キャリアアップ制度など）」

2位で回答が多かったのは「勤務条件が希望とマッチしている（給与、福利厚生、ワークライフバランス、勤務地、キャリアアップ制度など）」「事業内容に魅力を感じる」

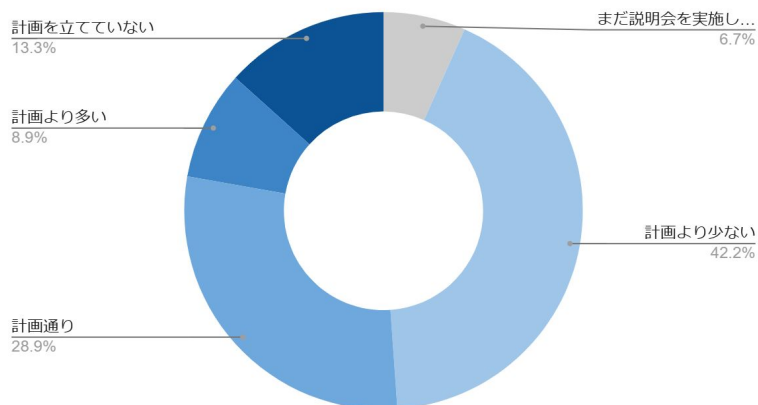
3位で回答が多かったのは「勤務条件が希望とマッチしている（給与、福利厚生、ワークライフバランス、勤務地、キャリアアップ制度など）」「社風に魅力を感じる」

勤務条件に関しては、1～3位にランクインするほど優先順位を高く設定する学生が多いことがわかりました。3位の「優先的にエントリーしたい企業の特徴」では「企業の安定性を感じる」が増えており、気になる対象として挙がりやすい項目だといえます。

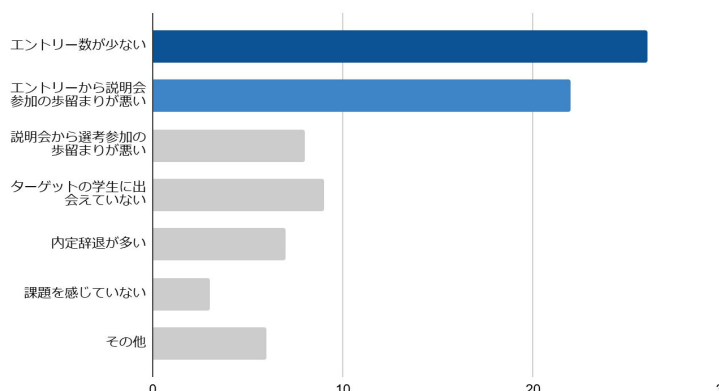
企業の採用状況について

企業の課題は採用の入り口にあり

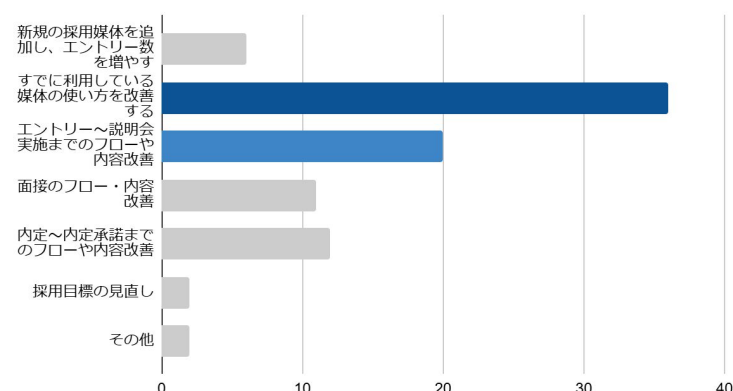
採用計画に対する現在の説明会参加者数を教えてください



現在抱えている採用課題を教えてください。



現在抱える課題に対しての改善方法を教えてください。



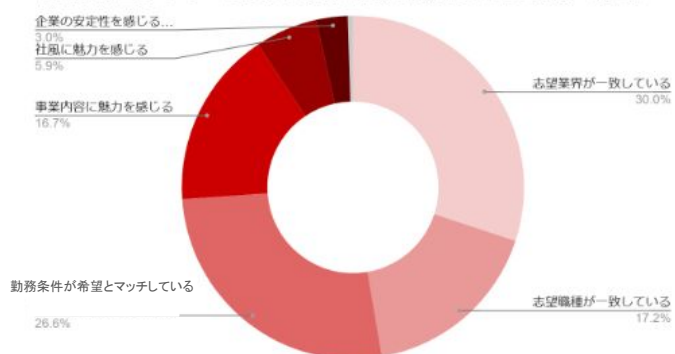
企業が抱える課題は、「エントリー数が少ない」「エントリーから説明会参加の歩留まりが悪い」といった採用の入り口で生じるものが多い結果になりました。

また、改善方法としては「すでに利用している媒体の使い方を改善する」「エントリー～説明会実施までのフローや内容改善」が多く、既存の媒体で母数を増やしつつ歩留まりアップの施策に注力する企業が多いようです。

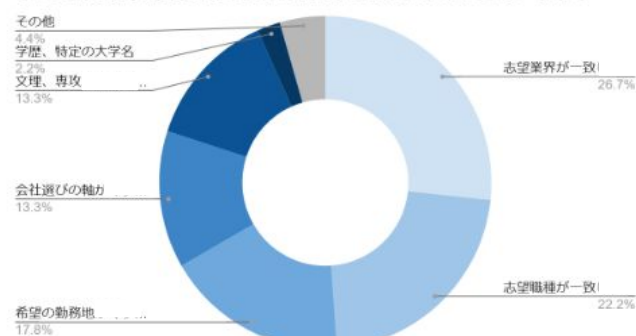
学生と企業の優先順位比較

「志望職種」よりも大事な条件とは

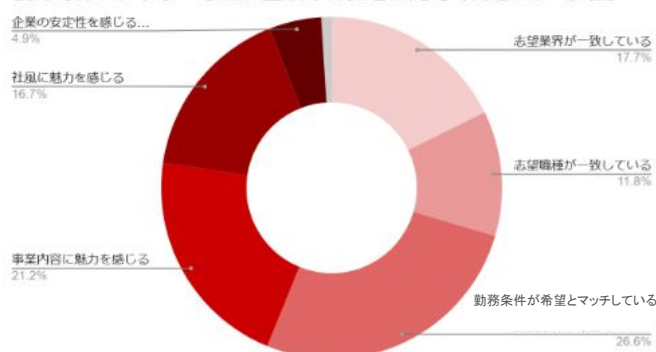
優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（1位）



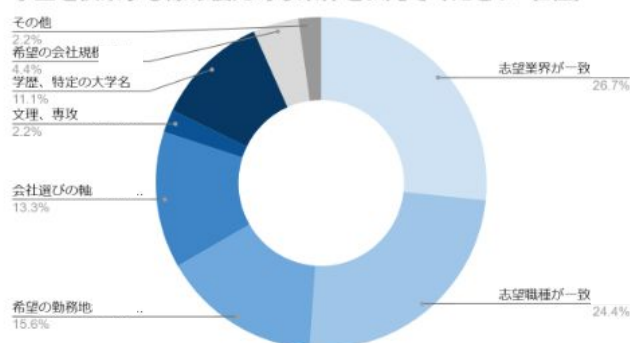
学生を検索する際の優先的な条件を教えてください（1位）



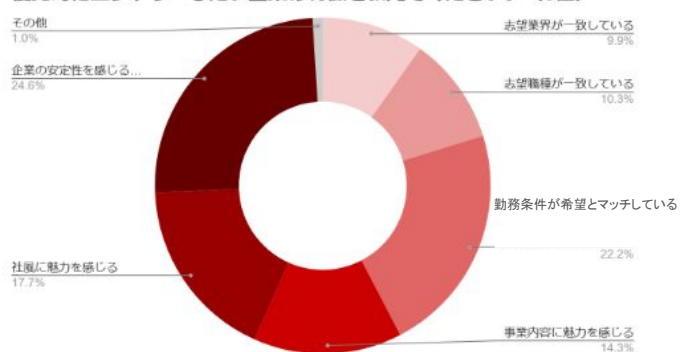
優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（2位）



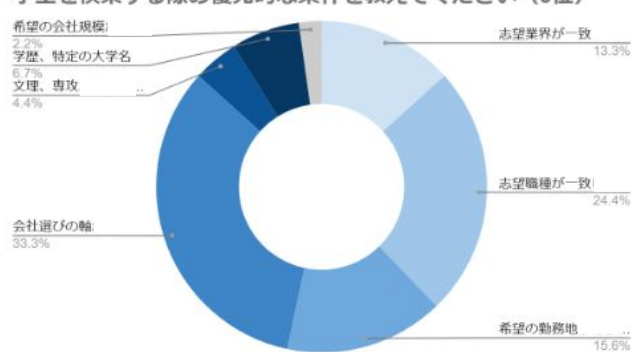
学生を検索する際の優先的な条件を教えてください（2位）



優先的にエントリーしたい企業の特徴を教えてください。（3位）



学生を検索する際の優先的な条件を教えてください（3位）



学生が企業を選ぶ条件（エントリー時）と企業が学生を検索する際の条件の優先順位を比較した結果、企業が比較的優先度高く考えている「志望職種が一致している」に関して、学生の優先度はそこまで高くないことがわかります。職種よりも勤務条件や社風を重視しているという結果になりました。

業界・規模に関わらず採用を実現する！

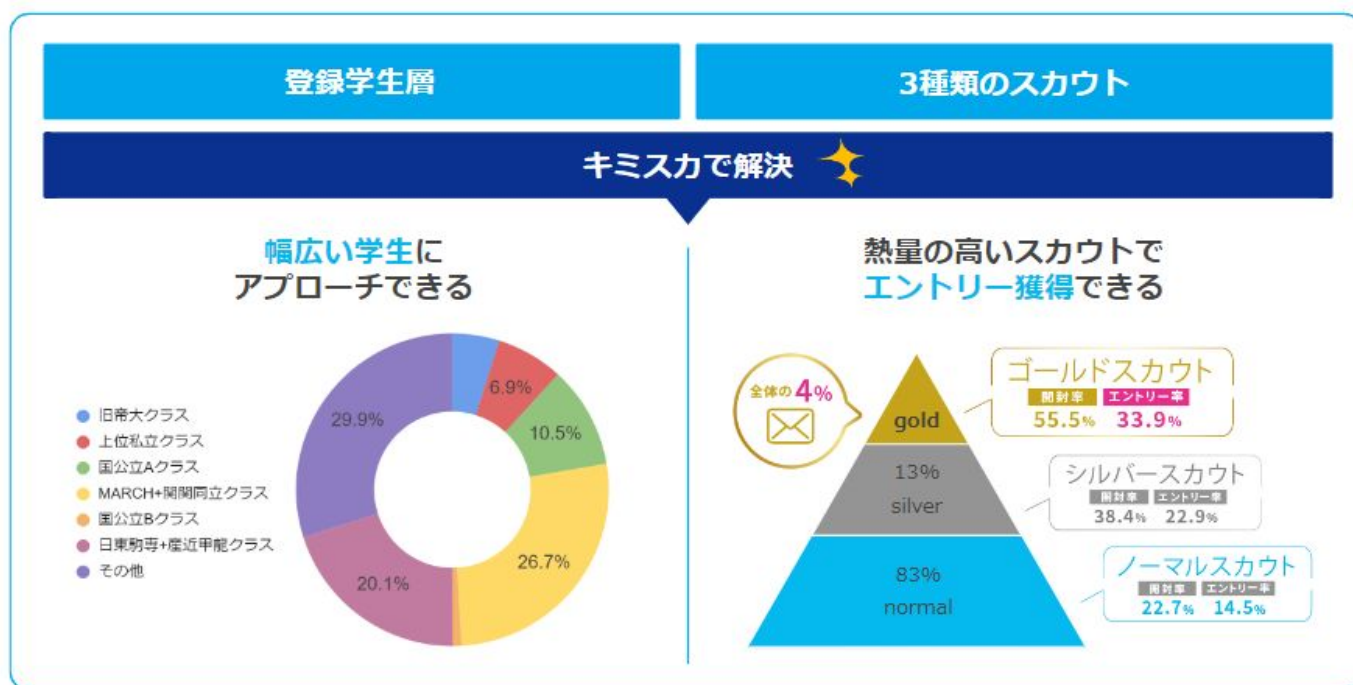
新卒ダイレクトリクルーティングシステム「キミスカ」とは



企業が学生を検索し、スカウトを送る「攻めの採用」を実現。
現在、3人に1人の学生が利用し、導入実績はスタートアップから大企業まで3000社以上！

アプローチできる学生層が豊富！

キミスカの特徴



幅広い学生に対して、3種のスカウトでアプローチできるため採用成功を実現しやすい。

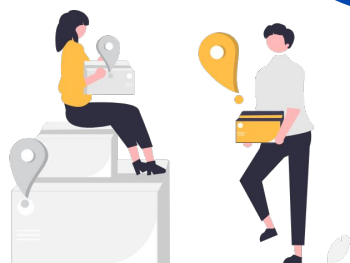
他社事例は？

キミスカって何？

こんな学生？

学生登録っていつのくらい？

弊社の場合は法が
どんな運用方法が
オススメ？



これは？

他社
サービス
の違いは？

こちらをクリック

問い合わせる

3人採用したい、プランは…
あ、イベントもあるのか！

キミスカ導入にかかる

料金を知る

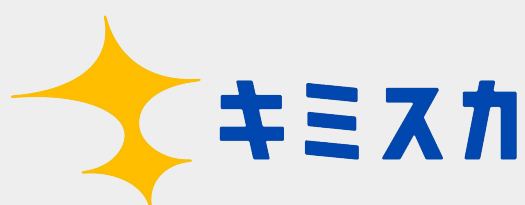


最低限の情報は…
これとこれと

“これ” が分かれば!!

30秒で分かる資料

ダウンロードする



株式会社グローアップ

〒105-0021

東京都港区東新橋 1-9-2 汐留住友ビル 25F